

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 5年 6月 28日</p> <p>石川県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者</p> <p style="text-align: right;">住所 石川県小松市串町甲84番地1</p> <p style="text-align: right;">氏名 有限会社 ショーケン産業</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 新井 久美</p> <p style="text-align: right;">(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p style="text-align: right;">電話番号 0761-46-1313</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>
--

事業場の名称	有限会社 ショーケン産業 解体工事現場
事業場の所在地	石川県小松市瀬領町イ38-1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	07 識別工事業
②事業の規模	元請完成工事高 355,003 千円(税抜)
③従業員数	27 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事現場にて分別作業後、各処分場へ処理委託 自社処分場にて処理する場合は、以下の通り処理 瀬領本社工場 選別 → (一部) 破碎、圧縮 → 中間処理業者、最終処分業者、再生事業者へ委託 工業団地リサイクル工場(木くず) 破碎 → 木質チップとして再生事業者へ売却 今江焼却施設(木くず、繊維くず、これらの混合物) 焼却 → 中間処理業者、最終処分業者へ委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
(管理体制図) 代表取締役 取締役 兼 ISO管理委員長 兼 安全衛生推進者 部門長 職長、現場代理人、工場長 現場作業員、工場作業員					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	金属くず
	排出量	35 t	832 t	7 t	334 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	合計
	排出量	145 t	9,795 t	145 t	11,293 t
(これまでに実施した取組) 請負工事量により変動するが、 排出時には、廃棄物の発生抑制とリサイクルを推進 混合廃棄物については、選別を徹底する					
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	金属くず
	排出量	30 t	830 t	5 t	330 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	合計
	排出量	140 t	9,790 t	140 t	11,265 t
(今後実施する予定の取組) 現状の通り					
産業廃棄物の分別に関する事項					
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				
	排出される産業廃棄物を種類ごとに分別				
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				
	現状の通り				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず		合計	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	694 t		694 t	
	(これまでに実施した取組) 木質チップヘリサイクルが可能なものを選別				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず		合計	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	700 t		700 t	
	(今後実施する予定の取組) 現状の通り				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	混合廃棄物	合計
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	94 t	5 t	3 t	102 t
(これまでに実施した取組) リサイクルが不可能なものに限り、焼却処分					
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	混合廃棄物	合計
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	90 t	5 t	3 t	98 t
(今後実施する予定の取組) 現状の通り					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
① 現 状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	— t		— t	
② 計 画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	— t		— t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
① 現 状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	金属くず
	全処理委託量	35 t	44 t	2 t	334 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	34 t	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	24 t	— t	— t	334 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	合計
	全処理委託量	145 t	9,795 t	142 t	10,497 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	8,245 t	— t	8,279 t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t	— t	358 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)				
	可能な限り再生利用業者、 または優良認定処理業者へ委託する				

② 計 画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	金属くず
	全処理委託量	30 t	40 t	2 t	330 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	35 t	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	25 t	— t	— t	330 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートく ず及び陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	合計
	全処理委託量	140 t	9,790 t	140 t	10,472 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	8,250 t	— t	8,285 t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t	— t	355 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)				
	現状の通り				
※ 事 務 処 理 欄					